

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第52週 平成16年12月20日(月)～平成16年12月26日(日)

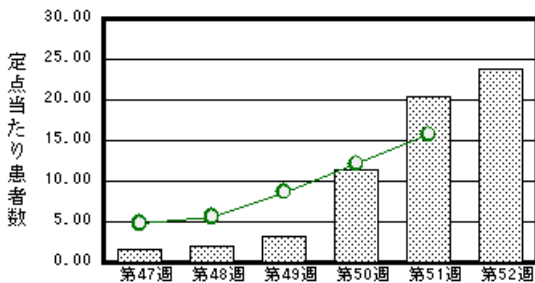
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

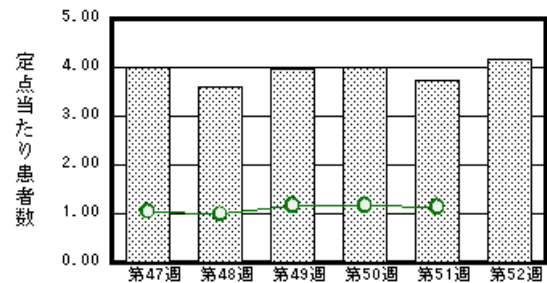
## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(548名) 流行性耳下腺炎(96名) 水痘(64名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(33名) 咽頭結膜熱、突発性発疹(30名)
- 【感染性胃腸炎】患者報告数が増加しました(470名→548名)。各保健所管内で増加してはいますが、特に鳥栖保健所管内で多く報告されています(130名)。また、昨年同時期と比較して多くなっています。流行の時期(11月～3月)ですので手洗いや食材の十分な加熱等を心がけ予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/kanssensseihp/tem.html>、<http://www.kansen.pref.saga.jp/srsv/srsv.html>
- 【インフルエンザ】予防には予防接種が効果的です。また、十分な休養やバランスのよい食事等で体力や抵抗力を高め、感染予防に努めましょう。予防等詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp/influenza/influenza.html>

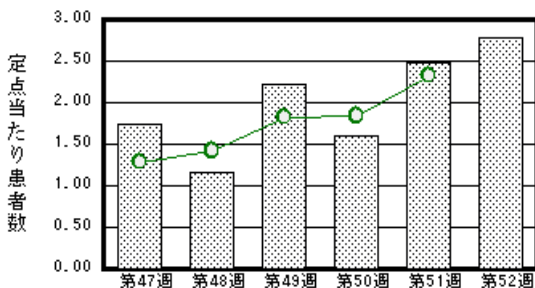
感染性胃腸炎



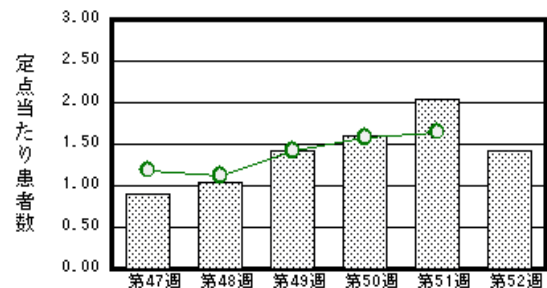
流行性耳下腺炎



水痘



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (DWR) 2004年第50週号 (12月6日～12月12日) 要点

・ 発生動向総覧	<第50週> 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加している / その他最新動向 <11月> 性感染症 薬剤耐性菌感染症 結核について
・ 注目すべき感染症	<インフルエンザ> インフルエンザ対策の基本は予防と適切な診断・治療である <先天性風しん症候群と風しん> 先天性風しん症候群は、本年は第50週までに合計9例の報告となっている
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
・ 速報	埼玉県におけるA/H1N1型インフルエンザウイルスの分離
・ 海外感染症情報	コンゴ民主共和国 (キンシャサ)での腸チフス流行
・ 感染症の話	<デング熱> 現在日本国内での感染はないが、海外旅行で感染して国内で発症する例がある

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第52週

平成16年12月20日 (月) ~ 平成16年12月26日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第51週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)							1 0.03	1685 0.36
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								855
	咽頭結膜熱	2 0.25	27 9.00		1 0.33		30 1.30	17 0.74	967 0.32
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	6 2.00	3 0.75	10 3.33	9 1.80	33 1.43	47 2.04	5020 1.65
	感染性胃腸炎	128 16.00	130 43.33	85 21.25	87 29.00	118 23.60	548 23.83	470 20.43	47978 15.74
	水痘	9 1.13	8 2.67	25 6.25	5 1.67	17 3.40	64 2.78	57 2.48	7103 2.33
	手足口病		1 0.33		7 2.33	1 0.20	9 0.39	8 0.35	1985 0.65
	伝染性紅斑	1 0.13	4 1.33	7 1.75			12 0.52	19 0.83	703 0.23
	突発性発しん	10 1.25	8 2.67	7 1.75	2 0.67	3 0.60	30 1.30	21 0.91	2031 0.67
	百日咳								49 0.02
	風しん								12 0.00
	ヘルパンギーナ	1 0.13					1 0.04		184 0.06
	麻しん (成人 麻しんを除く)								13 0.00
	流行性耳下腺炎	23 2.88	10 3.33	25 6.25	24 8.00	14 2.80	96 4.17	86 3.74	3454 1.13
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								12 0.02
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 0.25		448 0.70
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								7 0.01
	無菌性髄膜炎								6 0.01
	マイコプラズマ肺炎							4 0.67	179 0.38
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								5 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は50週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第52週 平成16年12月20日(月)~平成16年12月26日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				1	3			4						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		2		41	6		1	21						12ヶ月未満								
1歳		1歳		12		93	14		1	5					5	1歳								
2歳		2歳		6	2	73	11	4	1				1		9	2歳								
3歳		3歳		6	1	68	11	3	1						17	3歳								
4歳		4歳		1	7	53	6	2	4						14	4歳								
5歳		5歳		1	7	44	8		1						21	5歳								
6歳		6歳			3	48	2		1						11	6歳								
7歳		7歳			8	26	2								9	7歳								
8歳		8歳		1	1	20	1		1						5	8歳								
9歳		9歳			3	25			1						3	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳		1		31									1	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳				5										15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上			1	20									1	20歳~29歳		1						
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		30	33	548	64	9	12	30			1		96	合計		1						
前期計	1	前期計		17	47	470	57	8	19	21					86	前期計						4		
当期間/前		当期間/前	***	1.76	0.7	1.17	1.12	1.13	0.63	1.43	***	***	***	***	1.12	当期間/前	***	***	***	***		***	***	
増減数	-1	増減数		13	-14	78	7	1	-7	9			1		10	増減数		1				-4		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

